



図 V-2 これまでに GPS 首輪を装着した個体の全測位地点

3) 生態学的特性

ア) 年齢構成

ニホンジカ個体群に与える捕獲圧による影響、生息環境の変化等の基礎資料とするため、捕獲個体の門歯を用いた年輪法により、平成 20~22 (2008~2010) 年度の性別年齢構成を把握した。年齢査定ができた個体のうち、最低年齢は雌雄共に 0 歳で、最高年齢はオスで 13 歳、メスで 16 歳であった。平成 22 (2010) 年度の平均年齢はオスで 2.6 歳 (n=24)、メスで 3.8 歳 (n=45)、平均で 3.4 歳 (n=69) であった。

各年齢層の試料数が少なく欠落する年齢層も存在するが、年齢構成は末広がりのピラミッド型であり、増加型個体群であることを示した (図 V-3)。